

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	English D		
英文授業科目名	English D		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目Ⅰ		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	社本 雅信		
居室	東1-807		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shamoto@bunka.uec.ac.jp	

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>表現力向上と語彙・音声面の強化。</p> <p>英語表現力を向上させるには、英語を英語として成り立たせている根本的な原則、平たく言えば、英文法の基本的な事柄を記憶し理解した上で、応用問題を数多くこなすことが必要である。英語学習上、特に徹底した理解を要するのは、時制・関係詞・態・仮定法・話法である。その意味で、年間を通じて、これらの文法事項を運動させながら、英語表現訓練を重ねる。</p> <p>英語に苦手意識を持っている人の多くは、たいてい英語の発音に自信がもてない、英語をすらすらと読めないことに原因があるようだ。</p> <p>英語のつづり字と発音の関係にはかなりの法則性があるから、それを知れば、おのずと語彙力もつき、英語を口で唱えることに対する抵抗感を減らすことができよう。</p> <p>例えば、walk、talk を並べて観察すれば、ある法則が存在することに気づくだろうし、同じことは rough、tough、enough の三語についても言える。</p> <p>年間を通じて、音声テープを繰り返し聴くことで、正しい発音とスペリングを身に付けるように指導する。</p>
--

<p><b>【前もって履修しておくべき科目】</b></p> <p>なし</p>
--

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

### 【前もって履修しておくことが望ましい科目】

なし

### 【教科書等】

#### [教科書]

- (1) 『ユニーク英作文2』 (成美堂、800円)
- (2) 『5分間英語発音』 (南雲堂、900円)

#### [参考書]

『松本 亨・英作全集(全十巻)』 (英友社)

### 【授業内容とその進め方】

後期における授業内容は、前期で終わったところを引き継ぐ形になる。

#### (a) 授業内容

上記教科書(1)を使い、次のことを行う。

前期同様、英文法を学習・復習しながら、英語の表現力を向上させる。実生活に直結する数多くの比較的短い英文を暗誦したり書いたりする。学期の終わり近くには、自由英作文を課して、講評添削する。さらにこの上、後期は、サマーセット・モームのショート・ショートを読んで、優れた英文を鑑賞することも考えている。これは、優れた英文の到達点を示すためである。(ほぼ50分)

上記教科書(2)を使い次のことを行う。

英語の発音とスペリングとを関連させながら、語彙・音声面の強化を図る。(ほぼ30分)

#### (b) 授業の進め方

授業では、数多くの学生諸君を指名する。大体予想の付く順番に当てていくが、時に順不同で当てる。特に、英作文は、頭を使い、実際に手で書いて始めて力が付く。人の書いたものをただ見ているだけでは力につかない。十分予習して授業に出るようにすべきである。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### (a) 評価方法：

学期終了後の成績を100%としたとき、期末定期試験の占める比率は70%~75%、平常点を25%~30%とする。平常点には、小テスト(4回から5回程度)、発表のでき具合、授業に対する取り組み方、出席率が含まれる。

なお、(1)小テストを欠席すればその分は零点として扱い、

(2)欠席が後期授業回数のおよそ三分の一を超える場合は、定期試験の受験資格をう。

#### (b) 評価基準：

以下の到達達成レベルをもって最低達成基準とする。

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

定期試験および小テスト（ペーパーによる試験）が平均50点以上、発表担当を休まず、その出来がCランク以上であること。

### 【オフィスアワー：授業相談】

金曜日4時半～5時半

### 【学生へのメッセージ】

- (1) 語学は継続が大切。休めば取り返すのに2倍、3倍の労力を要する。
- (2) 今からLDCE (Longman Dictionary of Contemporary English)、OALD (Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English) のような英英辞典を使い英語で考える習慣をつけよう。用例が豊富で、使いこなすにつれていくつもの新しい発見がある。

### 【その他】